

様式第1号(第5条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	令和4年度 第1回美幌町次世代育成支援推進協議会
開 催 日 時	令和5年2月21日 (火) 午後6時30分 開会 午後7時12分 閉会
開 催 場 所	しゃきっとプラザ 集団健診ホール(1階)
出 席 者 氏 名	別紙名簿のとおり
欠 席 者 氏 名	別紙名簿のとおり
事務局職員職氏名	別紙名簿のとおり
議 題	(1) 「第二期美幌町子ども・子育て支援事業計画」中間見直し(案)について (2) 今後のスケジュールについて (3) その他
会議の公開又は非公開の別	公開
非公開の理由 (会議を非公開とした場合)	—
傍聴人の数 (会議を公開した場合)	0名
会議資料の名称	令和4年度 第1回美幌町次世代育成支援推進協議会議案 資料1 「第二期美幌町子ども・子育て支援事業計画」中間見直し(案) 資料2 美幌町次世代育成支援推進協議会委員名簿
会議録の作成方針	<input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した全部記録
	<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録
	<input type="checkbox"/> 要点記録
その他の必要事項	

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
(開 会) 水上課長	<p>本日はお集まりいただきありがとうございます。前回の参集会議が令和元年10月にあり、今回の会議との時間も経っていますので、開会に先立ちまして、担当部長の河端の方から挨拶をさせていただき、事務局の体制も変わっておりますので紹介させていただきたいと思います。</p>
河端部長	<p>皆さんこんばんは。 福祉部長の河端でございます。本日お忙しい中、また夜分遅くにお集まりいただきまして誠にありがとうございます。日頃より地域の子ども達、また子育て支援に対しましてご支援とご協力を賜りますことを感謝申し上げますとともに、今水上が申し上げましたとおり、ここ数年コロナ過ということもありまして、書面会議が続きましたことにつきましてお詫びを申し上げます。 本日「第2期美幌町子ども・子育て支援事業計画」の中間見直し案について委員の皆様からご意見を頂戴してまいりたいと考えておりますので、気兼ねないご意見をいただきたいと存じます。 令和7年度からは第3期計画の実施ということで令和5年度におきましてはニーズ調査を行う予定でいるところでございます。 少子高齢化が加速していく中で、今後子育て支援につきましては、ますます重要性が高まると考えているところでございます。 町といたしましても精力的に子育て支援を取り続けたいと思っておりますけれども、皆様方のご意見、ご指導がとても重要なものになっているところでございます。 今後ともどうぞよろしくお願いいたします。 以上簡単ではございますが、会議に先立ってのご挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。</p>
水上課長	<p>それでは、事務局の体制も変わっております。 今、挨拶がありました福祉部部長であります河端でございます。</p>
河端部長	<p>よろしくお願いいたします。</p>
水上課長	<p>児童支援グループの主査、佐藤でございます。</p>
佐藤主査	<p>どうぞよろしくお願いいたします。</p>
水上課長	<p>同じく児童支援グループ、池田でございます。</p>
池田	<p>よろしくお願いいたします。</p>
水上課長	<p>最後に昨年の4月から役場福祉部の社会福祉課に参りました、水上と申します。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。 それでは改めまして、ただいまより令和4年度第1回美幌町次世代育成支援推進協議会を開催いたします。 この協議会は、美幌町審議会等の会議の公開に関する条例により公開となっています。会議の傍聴ができますので、あらかじめご承知をお願いいたします。 次に委員の皆様の出席状況です。委員総数18名のうち12名の御出席をいただいております、委員の過半数が出席していることをご報告させていただきます。都合により、事前に4名から欠席のご連絡をいただいております。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
<p>(挨拶) 水上課長</p>	<p>美幌町民生委員児童委員協議会の早田様、大谷幼稚園の赤岡様、ひまわり保育園の贄田様、商工会議所の伊藤様、4名の委員の皆様より欠席のご連絡をいただいております。</p> <p>定刻で開催しておりますが、東陽保育園父母の会の一戸様と一般公募の中武様が出席になっていないまま会議の方を進めさせていただきたいと思っております。</p> <p>お手元の次第にそって進めてまいりたいと思っております。</p> <p>それでは次第の2「挨拶」となります。</p> <p>本日、所用のため早田会長が欠席をされておりますので、井上副会長よりご挨拶をさせていただきたいと思っております。よろしくお願ひします。</p>
<p>井上副会長</p>	<p>みなさん、こんばんは。</p> <p>着席のままご挨拶させていただきますことをお許しください。本日早田会長の代わりに司会進行を務めさせていただきます、井上です。</p> <p>よろしくお願ひいたします。</p> <p>コロナ過で集まっての会議がずっとできませんでしたので、こうして皆さん逢ってその場で会議を進めるということが久しぶりです。</p> <p>日頃いろいろなことを感じていると思ひます。</p> <p>ぜひ、せっかくの機会ですので、現場の先生方もいらっしやっていたいでいますので、ご意見や質問等をだしていただければ幸ひに思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。</p>
<p>(議題 (1)) 水上課長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは次第の3番、議題の方に入りたく思ひます。</p> <p>ここからは井上副会長の方に進行をお願ひしたいと思ひます。</p>
<p>井上副会長</p>	<p>議題3の(1)「第2期美幌町子ども・子育て支援事業計画」中間見直し案について、事務局より説明をお願ひいたします。</p>
<p>水上課長</p>	<p>それでは、「第2期美幌町子ども・子育て支援事業計画」中間見直し案の概要につきましてご説明したいと思ひます。</p> <p>お手元にある中間見直し案の資料1ページをめくっていただき、「美幌町子ども・子育て支援事業計画」の中間見直しについて、再確認をしていきたいと思ひます。</p> <p>計画の見直しの概要、中間見直しの考え方については、子ども子育て支援法第61条に基づきまして、市町村は国の示す提供指針に即して、5年を1期とする教育保育および地域子ども子育て支援事業の提供体制の確保など、法律に基づく業務の円滑な実施に関する市町村の計画を定めるとしていることから、令和2年3月に計画期間を令和2～6年度までの5年間として、「第2期美幌町子ども子育て支援事業費計画」を策定しております。</p> <p>また、今年度の令和4年度は、5年間の中間年に当たり、令和3年4月1日の実績値の数値を把握しながら、計画を策定した時期と、実績の数値を見比べて事業の事業量の見込み、提供体制の確保の内容など、事業実施の内容や利用状況に照らしながら、必要に応じて見直しを行う内容となっております。</p> <p>それでは次に移ります。</p> <p>今回見直しを行う箇所について、こちらは令和2年度3月に策定した計画書の3ページの方に記載されている部分です。</p> <p>こちら本計画の実現を図るために、「子育て・子ども子育て支援事業計画」以外に、福祉関係で持っている計画との関連性もあることで、障がい福祉</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
	<p>計画および障がい児計画、それから高齢者保健福祉計画および介護保険事業計画が令和3年度に策定を新たに直していますので、新しい計画名、計画期間を朱書きで記載しているところが、今回の見直しの部分となります。</p> <p>それでは、1ページをめくっていただいて、次ページ以降ですが、現在の計画の策定が、令和2年3月であり、当時の統計数値が出てまいります。2年度以降は推計値を用いていた内容となっております。</p> <p>今回の見直しは、令和3年4月1日の実績値を用いて、数値等を見直しております。</p> <p>こちらの計画書の5ページから12ページに記載の部分を、新たに実績数値を記載していますので、順に見ていきたいと思っております。</p> <p>総人口と年少人口、それから②番は年齢別の就学前の児童数の推移。③番、合計特殊出生率、④番未婚率の推移、⑤番就労率の推移となっております。次のページが⑥番世帯数と一世帯平均人員の推移という記載がございます。</p> <p>計画と同じレイアウトで記載をしているものであり、令和3年の4月時点の実績が固まりましたので、一部数値を変更しています。</p> <p>同じように、(2)番将来推計人口、推計に使用した方法および実績人口データが、どういう人口推計のものを使用しているかは、右側のページに記載のようにコンフォート変化率法による人口推計で向こう令和4年、5年、6年の見込みを出しております。</p> <p>令和3年の実績数値が固まったので、もう一度令和4、5、6年の向こう3年間の見込みの児童数の推移を推計し、より精度を高め、計画の当時よりも出生の人数などやや下回っていますので、現在の実績に近いような見込みの記載となっております。</p> <p>次ページは同じような統計数値となっておりますが、こちらは実際の施設に関わる内容となります。</p> <p>認定こども園、保育園の園児、小学校に在籍しております児童数になっておりまして、①番は町内の私立認定こども園が2園の在園児童数の推移であります。</p> <p>②番につきましては、公立通年認可保育園2園と民間の認可外保育園1園の推移を表したものです。</p> <p>③番は施設へき地保育所の関係を記載しています。</p> <p>当時、へき地保育所は3ヶ所あり、令和2年度に二つの保育所休所し、令和3年末には1ヶ所が休所となっております。</p> <p>令和4年度からは、へき地保育所が全部休所している状況となります。</p> <p>④番は、町内の3校の小学校の児童数の推移を表したものです。</p> <p>最後となります、3番保育施設の使用料および方策ということで計画書の16ページから17ページに記載した内容です。</p> <p>こちらの内容は国から提示される基本指針に沿って、計画期間2年～6年におきます幼児期の学校教育、保育の量の見込み。実際の必要となる利用定員の総数、それを確保する方策および実施時期について設定をしている内容となります。</p> <p>こちらは1号認定、2号認定の3歳以上の幼稚園、認定こども園、常設公立保育園それから3歳以上の特例保育に係る保育施設の2号認定、それから3番、0歳児の認可外保育施設認定こども園、地域型保育の3号認定。それから1、2歳児に関わります保育所、認定こども園特例保育の3号認定ということで、いずれも令和3年度の実績の数値が固まりましたので、赤字で示しているところが実績値となっております。</p> <p>見たところ令和3年度の当初の計画と、ほぼ変わっていないと、計画通りに定員総数が確保されていることが見受けられるかと思っております。以上、今</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
井上副会長	<p>回見直しをかける部分の中間見直し案の概要につきましてご説明をさせていただきました。 よろしくお願ひします。</p> <p>ありがとうございます。 それでは、ただいまの説明のありました内容につきまして質問等がございましたら、お話ししていただければと思います。いかがでしょうか。 中間見直しと言いましても、基本的には内容は変わらず、数値が確定したもののへの変更となりますので、基本、事業計画の内容については大きな変化は無いということだけは、皆さん押さえていただき、事務局から説明があったように令和3年度の実績値の数字がはっきりしたので、確定した数値を基にして見直しをしたと認識いただければと思います。 私も最初の資料をいただいたとき中間見直しと書いてありましたので、しなければいけない必要性や目的が何かあるのかなと思い、会議の前に確認しましたらそうではないということがわかりました。そう同じように思って参加された委員の方もいらっしゃると思ひ補足させていただきます。</p>
杉本委員	<p>認定こども園、保育園について、小学校も3つあり、保育園も何か所があるが、それぞれ、どれくらいの児童数になっているか？総合の人数だと、どこが多いのか少ないのかわからないので、もしわかるのであれば教えていただきたい。 令和3年度、小学生806名となっている中で、美幌、東陽、旭でどういふ内訳になっているのかなと思ひまして。</p>
佐藤主査	<p>私の方から回答させていただきます。小学校の人数は持ち合わせておりませんので後日お答えさせていただきます。令和4年度4月現在で、美幌保育園48人、東陽保育園36人、認定こども園は若干動きがあるのですが、藤幼稚園135名、大谷幼稚園が103名。ひまわり保育園は覚えている範囲ですが約50～55名ぐらいです。</p>
杉本委員	<p>わかりました。ありがとうございます。</p>
水上課長	<p>小学校の数字の持ち合わせありましたので、令和4年4月現在のものですがお答えさせていただきます。令和3年5月現在806人だったものが、令和4年の4月現在は若干減ってしまっして、総数が766名で、うち美幌小学校が295名、東陽小学校が284名、旭小学校が187名となっております。</p>
杉本委員	<p>ありがとうございます。</p>
井上副会長	<p>他にご質問はありませんか？ それでは私の方から、へき地保育所は3ヶ所休所になっていますが、休所中でも多分農家の方で出産している方いらっしゃると思ひますが、どちらかに上手く振り分けされ、他の場所に入園できているのか。わかる範囲で結構です。</p>
佐藤主査	<p>令和3年度のへき地保育所は15名です。そのうち7名がこのまま卒園し、残るのが8名だったものですから、8名だと大きな行事はほぼできなくなるというのを、夏ぐらいから、保護者の方々にお話しさせていただきました。 その中で町立保育園なり、認定こども園に全員転園可能であれば、休所</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
	<p>の意向があるという了承をいただいたうえで、転園の手続きをしております。転園された後は、他の通園されている子どもと同様に子ども達は過ごしている状況です。</p>
井上副会長	<p>その場合、当然、親が時間で送り迎えをしている状態ですよ。</p>
佐藤主査	<p>そうですね。</p>
藤本委員	<p>今のお話の中で、親が送り迎えをしているとのことですが、何か手当みたいなものは出ているのですか？他の市町村町では出ているようですが。</p>
佐藤主査	<p>町立の方はスクールバス等をもっていないので保護者の方々に送迎をお願いしています。認定こども園はスクールバスの運行をしていますが、スクールバスの運行の規定外の方となると保護者の送迎になります。送迎に関する手当、助成について、当町はありません。</p>
藤本委員	<p>それは担い手育成や農家の影響になっていないのか、子どもの数が余計に減ってしまう気がするのですけれど。 美幌町でも支給的なものがあれば、子育てしやすいのではと思うのですが？</p>
河端部長	<p>今、委員おっしゃられる通り何らかの形で保護者の負担というのは軽減されて、いろんな面で子どもが増えたり親の負担が減ったりと良い面はあるかと思えます。 今現在、国の方でも、子育て支援策に前向きな傾向にあります。 そうはいっても財源としては限られていますので、その中で国からまず補助等があればやぶさかではないのですけれども、現在国からの支援がないので、町費で子育てに係る全てをまかなうことは現実的に無理です。 ますます、子育て支援が重要になっていく中で優先順位を決めて政策を行っていかねばならないと思っています。 その中で通園に対する手当が重要だということになれば、政策として打つことができるのですけれども、今、重要視されているのが伴走型支援と言われているもので、単にお金をばらまくのではなくて、子育ての中で育児とか出産とかそういった部分について、アフターケアをしていくという方向になっています。 ですから、今後そちらの方に重点を置いた国の背策の方向性になるのかなと思えます。限られた財源の中で優先順位を決めて行わなければならないことをご理解いただきたいと思えます。</p>
藤本委員	<p>はい。</p>
井上副会長	<p>美幌町は若い世代の人たち、子育て世代の人たちに優しい町ということをやっています。それが現実になっているかっていうと、割と若い人たちから聞くとやっぱりいろんな部分で「ちょっとこうだったら」っていうこともあり、もう少し若い世代たちの意見を聞く機会を設けてもらって吸い上げていただけたらと思えます。きっと色んなことを思っていると思うので、我々は子育てについては、はるか昔の世代ですけれども、やっぱり私達が子育てしてきた環境と今はかなり環境が違ってきているので、そういったことも加味しながら、もっとよりよく感じていただけたらと思えます。 他になにかございませんか。教育現場に携わっている中で、竹内校長先</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
	生、何かありませんか。
竹内議員	初めて出席させていただいているので、わからないことがたくさんあるのですが、よく大きな町では待機児童がいると思いますが、美幌町はありますか？
佐藤主査	どうしてもお引越しか、年度当初の後に転勤でまたは元々予定していなかったけれども幼稚園、保育園に通わせたいという方が申込いただいた時には、年齢に対して定員がいっぱいになっているというケースが多々あるので、ないと言えません。少なからず年間で10名いかないぐらいは保護者の方々が希望される時期に対応できないということがあります。
竹内議員	わかりました。ありがとうございます。
井上副会長 (議 題 (2))	なかなか、難しいことですね。他に、何かありませんか？ 大丈夫でしょうか？ では、議題につきまして(2)についてご説明をお願いします。
水上課長	今後のスケジュールについて、先ほどご説明をしました計画の中間見直しをこちらでもう一度精査をいたしまして内容を最終的に固めてホームページなどで公表してまいりたいと考えております。 中間見直しが確定しましたら改めて委員の皆様へ、再度、計画の資料を送付させていただきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いしたいと思います。以上です。
井上副会長 (議 題 (3))	ありがとうございます。 今後のスケジュールについて、今、事務局の方でご説明いただいたとおりで皆さんよろしく願いいたします。次に進めさせていただきます。 (3) その他ということで、子ども家庭庁に開設、こども基本法の施行は、現在、国が進めているけれども、何か皆さんの中から質問なりご意見がありましたら、お願いいたします。特にないのであれば本日の会議の目的は問題ないと思っております。
佐藤主査	今回の議案送付させていただいたときに送付しておりますが、どうしてもなかなかこういう場ですので、やっぱりこういうのも詳しく聞きたいということが、この後もあろうかと思っております。 最後に質問票を今日お配りしますので、この場で聞けなかったことを改めて、質問票を生かしていただいて提出いただき、内容を精査してご回答を後日させていただきます。 皆さん方からの意見が、町の取り組みに繋がろうかと思っております。 ぜひ提出ください。
井上副会長	欠席の委員さんにもその旨、伝えていただいて、子どもの関係の方もいらっしゃると思いますし、いろいろそういった関係で直接状況はわかっていらっしゃる方がいらっしゃると思うのですけれどもお願いいたします。 それでは他になければ、本日の会議を終了させていただきたいと思っております。
(閉 会)	以上をもちまして、令和4年度第1回美幌町次世代育成支援推進協議会を閉会させていただきます。皆様、大変ありがとうございました。